

子供たちの目を守る

小児眼科診療のお知らせ

「小児眼科は早期発見、早期治療が大切です」

伊藤医院では、お子様の視力を守るために小児の眼科検査・治療に取り組んでいます。視力の成長をさまたげないために、いかに早く発見するかがとても重要です。

市町村でも3歳時健診などの取り組みがありますが、より早い時期から可能な検査もありますので、まず気になった時には受診をおすすめします。

当院では1歳未満のまだ視力検査ができないお子さんでも屈折検査が可能です。

「弱視とは」

弱視は、何らかの原因によって視力の成長(発達)が抑えられ、止まってしまった状態を指します。生後間もない赤ちゃんは、まだ

お父さん・お母さんの顔はよく見えておらず、明るさぐらいしか分かりません。生まれた時から視力の成長の始まり、4ヵ月頃になると動くものを目で追いかけることができるようになります。

視力の成長は、目から入った見た刺激を脳に伝え正しく見ることができるようになっていくことです。5～6歳になると、大人とほぼ同じ見え方（視力）へ成長します。身体の成長と異なり、視力の成長期間はとても短く、8歳頃に成長は停止してしまいます。

この限られた期間に、何らかの理由で成長が妨げられると、未発達の状態である「弱視」となります。さまざまな原因があり、強い遠視・近視・乱視や左右の度数の違いなどが挙げられます。

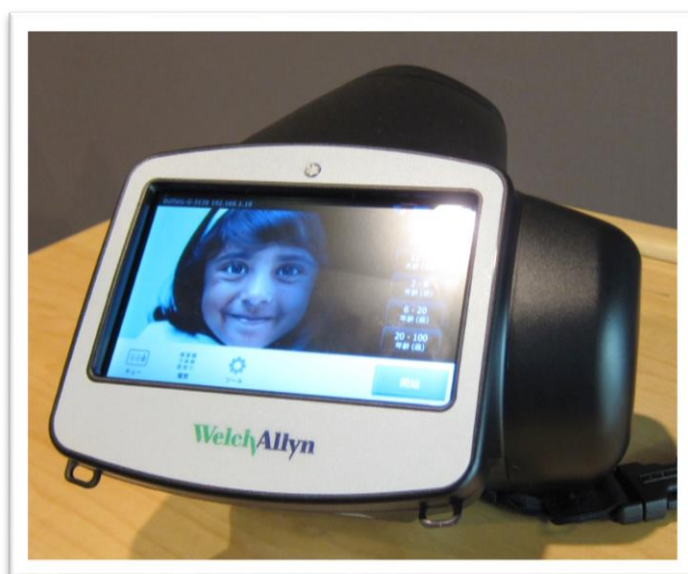
視力が発達する期間が限られるため、治療ができるのは8歳頃までです。いかに早く治療を始めるかがとても大切です。小さいお子さんは、自分の言葉で「見えない」という事は出来ません、また片目だけ視力が悪い場合には周りの方が見えていても、お子さまの異変に気づくことができません。

治療を開始が早いほど、視力の成長だけでなく、検査になれることもできるため**気になったら少しでも早めの検査**をお勧めします。

どんな検査をするの？

視機能検査

視力検査、目の位置（眼位）、近視や遠視などの屈折検査を行います。↓の写真は器械に顔をのせられないお子さんの検査機器。



正確な屈折度数を調べるため調節麻痺検査

視力が出づらいなどの問題があった時には、検査で得られた結果が正しかったどうかを調べます。ピントを合わせて物を見る力（調節力）を一時的に取り除くために検査の目薬を用います。

お子さんの目は調節力が大人より強く、通常の検査では正確な結果を得られないことがしばしばあります。そのため調節力を一時的に抑え、本来の屈折度数を調べます。

検査には「サイプレジン」「アトロピン」という検査の目薬を使い合わせています。目薬がしみたり、一時的に見づらくなったり、まぶしく感じます。調節力の低下が持続する期間を考慮し、学校の予定などお子さんのご都合に合わせて検査を予約制でご案内しています。この検査で、お子さんに隠れた屈折異常がないか確認しています。

<調節麻痺の点眼薬の比較>

	調節麻痺の 効果	点眼する回数	効果が持続する 期間	瞳孔を開く 作用
アトロピン	とても強い	検査の1週間前から1日2回点眼	点眼中止してから約2週間持続	あり
				
サイプレジン	強い	5分毎に3回点眼 1時間で効果が現れる	1~2日	弱い
				

どんな治療をするの？



治療の基本はメガネの装用です。これまでの検査結果から、適切なメガネの度数を決め正しく見える状態を作ります。

メガネを正しく使うことが大切です。すぐ慣れてくれるお子さんが多ですが、最初はわずらわしくイヤがってしまうこともよくあります。メガネを始めるにタイミングに個人差がありますが、小さいお子さんご本人にはその大切さはまだ理解できません。ご家族の協力がとても大切ですので、メガネでよく見えて続けるやる気がでてくるようにアドバイスをしています。

お子さんの視力を育てるメガネは、おしゃれなものよりかけやすいものを選ぶこと、定期的なメンテナンスを受けられることがとても大切です。当院では、メガネのプロ（認定眼鏡士）からお子様向けの治療用メガネを提案することもできますので、希望される方にはご紹介しています。

メガネは、初めてからが最も重要です。視力が順調に上がっているか定期検査をします。弱視治療はすぐには効果が得られません。続けていくことが一番大切です。個人差はありますが、多くは治療開始3～6ヶ月頃には効果がでてきます。

視力が向上してからも、メガネがいらなくなるわけではありません。お子様の成長によって屈折度数も変化していきますので、半年～1年毎に調節麻痺検査を行います。

左右の度数の差が大きい（不同視）は、視力のいい目を隠す（アイパッチ）をして視力の悪い目だけで見る訓練を行うこともあります。

通院を継続することは、面倒かとは思いますが、将来のあるお子さんの目を守るために、ご本人・ご家族と力を合わせて治療に取り組みましょう。お子さんの視力の向上は、ご家族だけでなく、我々スタッフにとっても大きな喜びです。

また、治療に際してご不安・ご心配があれば医師・視能訓練士までお気軽にご相談ください。

どんな時に受診したらいいの？

日常生活でのお子さんの様子や行動で気になることをあれば受診をおすすめします。

- こんなことありませんか？
- 目を細めてものをみている
- 3歳時健診で視力低下などを指摘された
- 頭を傾けて物をみている
- 片眼を閉じてみている